

令和4年度 学長と学生との懇談会 懇談概要について

「学長と学生との懇談会」は、学長をはじめとする大学執行部と学生たちが直接意見交換をすることで、学生の希望や意見を適切に把握し、今後の学生生活支援の更なる充実や学生の意見を大学運営に取り入れ、改善を図ることを目的に毎年開催しているものです。令和4年度は、令和5年2月8日（水）にオンラインで開催しました。今年度は、技大祭実行委員会、学生宿舍入居者、ぴあサポーター、サークルなどで活躍している学生、留学生の10名の学生が参加しました。以下は懇談の内容をまとめた概要になります。

1. 本学に入学して満足していること

- ①学習サポーター制度が充実しており、非常に助かった。
- ②工業高校からの推薦入学者に対するサポートが手厚いこと。また、工業高校から入学する人が多いという環境も同じ境遇の人がいることが心理的によいと思った。
- ③技大祭に対するサポートがあった。また、課外活動施設などの設備が整っていること。
- ④実務訓練があること（特に海外実務訓練）。
- ⑤他大学等との単位互換協定があること。起業に対する支援があること。
- ⑥高専で学んだことを活かして、さらにより専門的なことを学べること。
- ⑦授業の選択科目が充実していること。
- ⑧大学内の各棟が繋がっており、行き来しやすいこと。
- ⑨留学生が多く、留学生と交流できること。
- ⑩国際的なミーティング等に参加することで、国際組織の方や企業等との貴重な接点を持つ機会に恵まれていること。

2. 本学の改善して欲しいところ

学生からの要望・提案	大学側回答
①課外活動を行う際に提出する書類が電子化されたことはよかったが、メールで顧問教員に連絡しても返事がなく、結果的に書類に署名をしてもらったものを電子申請することになり、手間がかかっている。	顧問教員へのメールの内容を簡潔にすること、期日を明記して送信するなど、教員へのメールの内容に気を付けてください。 電子申請の方法で改善できる点を整理すること、場合によっては紙媒体での提出について検討します。
②技大祭での飲食に対する緩和を行ってほしい。コロナ禍前のイベントの経験者が少なくなり、引継ぎが難しくなっている。	5月8日から、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行するに伴って、今後開催するイベントの感染症対策の緩和なども状況を見ながら検討していきます。今年度は卒業式・修了式、祝賀会も開催します。また、4月には入学式を開催し、講義室の収容人数もコロナ禍前の100%に戻す予定です。海外への渡航規制の緩和なども検討しています。
③学部生は図書館の24時間利用ができないこと。日中講義が多く、図書館の利用が閉館時間までの限られた時間となっている。	図書館の24時間利用については、研究目的のサービスです。複数人で学習する場所としては、図書館1階のラウンジが24時間利用可能であること、その他は講義棟のEggルーム（20:00まで）を使用することができます。
④実験実習棟、工作センターへ行くための渡り廊下がなく、悪天候時も外を歩かなければならないこと、また、消雪パイプがないため、改善してほしい。	大学全体の環境整備を少しずつ行っており、消雪パイプについても増設しています。構造上の問題などもあることから、整備が進んでいない箇所についても今後整備について検討します。
⑤実験室などのマップがなく、場所が分からない新入生が困って、ぴあカフェに尋ねてくる。各棟には、フロアマップがあるが、時々実験室の場所が変更になることがあり、どの部屋なのかが分からないものがある。	各課程で行われる課程別ガイダンスで教員から場所を記載した資料を配布し、説明するなどの時間を設けて対応します。
⑥LiveCampusとILIASという2つのシステムを使用することは煩雑なため、統一したシステムにしてほしい。	現在、遠隔授業支援システム（ILIAS）と学務学生支援ICTシステム（LiveCampus）の更新作業を進めています。成績等を管理するシステム（LiveCampus）と講義を提供するシステム（ILIAS）を1つにすることは難しいですが、更新した際には、2つのシステムをリンクさせるなど分かりやすいように構築したいと考えています。
⑦授業科目によって、レポートの提出方法（ILIAS、LiveCampus、メール、紙媒体での提出）が異なるため、統一してほしい。	授業の形態等により、レポートの提出方法は異なるため、授業担当教員の判断により行われており、統一した方法は難しい状況です。メールによる提出を行っている場合もあることから、教員には課題の提出確認をきちんと行うように周知徹底したいと思います。
⑧リンテックハウス前の坂道には消雪パイプがなく、除雪もすぐに来ないことから、消雪パイプの設備を設置してほしい。	リンテックハウス前の道や周辺道路は市道となるため、長岡市にこまめな除雪、消雪パイプの設置などを依頼します。

3. より良い大学にするための提案	
学生からの要望・提案	大学側回答
①新入生に対する大学の説明がコロナ禍であったため実施されなかった。説明会の機会を設けてほしい。	コロナ禍前は、合宿研修を行っていました。新入生研修については、今後実施する予定です。研究室配属されれば、研修室でのイベントなどもあるため、他の学生との交流する機会は増えると思います。
②違法駐車を取り締まりをしてほしい。現状、ルールを守っていても罰則がほぼない状態となっている。	特に冬期間の駐車場の確保が難しくなるため、除雪を行ったり、消雪パイプを増やして整備をしています。今後違法駐車のリッカー移動などについても、法律等を確認した上で検討したいと思います。
③課外活動施設の予約のシステム化を進めていただいたことはよかったが、一度に複数の予約ができない状況である。技大祭実行委員会は今後多くのミーティングを行う必要があるため、改善をお願いしたい。	システムについては、現在試行段階のため、改善できるかどうか検討したいと思います。
④新型コロナウイルス感染症対策が実態を伴っていない。感染症対策を緩和してほしい。	学生、教職員など接触する機会が多い者もあり、学内でのクラスターを起こさないこと、感染症が拡大しないよう行動指針を定め対応しています。すでに緩和できることは進めていますが、自身のことだけでなく、相手のことを考えて対応していただきたいと思います。
⑤就活支援ルームの予約がシステム化されたが、3日前までに予約をすることになっている。企業によっては、前日に面談の日程が決まることもあるため、直前でも予約できるようにしてほしい。	原則1日前に変更します。やむを得ず1日前までに予約できない場合、状況によっては当日でも許可しますので、学生支援課就職支援係までご相談ください。
⑥祝日の授業を減らしてほしい。	授業を1学期、2学期に集中させて、1～2月は修論発表会に充てるような形となっていますが、授業は15回+試験を行うこととなっているため、現状の学期制では祝日に授業日を設定する必要があります。現在進行中の改組の完成年度を迎えるまでは難しいですが、実務訓練の期間は維持しつつ、クォーター制への移行について検討しています。
⑦祝日の授業日に第1食堂しか開いておらず、休み時間内に昼食を取ることができない学生がいた。食堂側も準備が間に合っておらず、提供待ちの時間が長くなっていた。第2食堂等も開けてほしい。	コロナ禍において食堂の経営が厳しくなっていることもあり、第1食堂のみの営業となっていますが、食堂側には通常営業について検討していただくように依頼しています。引き続き、食堂側に申し入れをしていきます。
⑧ILIASの動画教材を視聴中に動画が止まったりすることがあるため、改善してほしい。	動画が停止するといった問い合わせがあることから、継続的に検証をしていますが、ネット環境、動作環境、コンテンツに起因する要因が存在することから、個々の事例の原因を特定することは難しい状況です。しかしながら、映像の設定を変更する、映像を分割する等の対応を行い、問題の解消、改善がされた事例もあります。引き続き、調査、検証を行って対応します。
⑨日本人学生の授業料免除の枠を増やしてほしい。	授業料免除は、日本学生支援機構が行っている制度と、大学独自で行っている制度がありますが、大学独自で行っているものは決まった予算があり、現在の制度では、なるべく多くの学生が免除されるように制度設計をしています。